

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成31年1月19日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌宮の森校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		個別療育であるため、適切なスペースの個室等を整備し療育を行っています。	
	②	職員の配置数は適切である	4		法令等に遵守して職員を配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		マンツーマン療育であるため、個室での活動を基本としており、個別支援を行う事業所として適切であると考えています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		個室での活動を基本としています。各空間は清潔保持のため、1日1回の定期清掃と状況に応じた適時の清掃を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		全てのスタッフは、日ごろからモニタリング会議、運営会議、朝・終礼などを通して、PDCAサイクルに参画しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		H30.4開設の当事業所として、はじめて事業者評価を実施しているところです。今後、保護者等の評価の集計・解析を踏まえ、更なる業務改善に努めてまいります。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		4		H30.4開設の当事業所として、はじめて事業者評価を実施しているところです。評価がまともなものでない内容等を適切に公表いたします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		H30.4開設の当事業所として、外部評価は未実施ですが、今後法令等に則り適切に対処いたします。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		新人へは合計40時間以上に及び初任者研修、その後も2か月に1回の事例検討会、随時の内・外部研修等を行っています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		法令等に則り適切にアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		個別支援計画を基準として、目標に対する進捗状況や療育の効果など視点を統一・標準化してアセスメントを実施しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		児童発達支援ガイドラインに沿って適切に項目を設定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		モニタリング・アセスメントや日ごろのスタッフミーティングなどを通して計画に沿った支援が行われているか確認・検証しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		モニタリング会議や日ごろのスタッフミーティングなどで活動プログラムを立案しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		計画に沿ったプログラムを基本として、目標への進捗状況や利用者の特性及びその日の状態に応じた活動を行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	4		当事業所は、もともと個別療育専門であるため集団療育は行っていません。ただし、通常療育とは別枠のイベントとして小集団療育を適宜実施しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		マンツーマンの完全個別療育ですので療育上の役割分担はありませんが、療育外のサポートに関する役割分担を確認しスムーズな療育ができるよう図っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		毎日の終礼及び随時行うスタッフミーティングで、支援の振り返りや留意事項などを共有しています。	

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	支援記録の作成を徹底しています。これを元にモニタリングなどを行い支援の検証・改善を行っています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	3～5か月ごとに又は必要の都度、モニタリング会議を開き計画の見直しの判断を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	招請された場合は担当指導員又は児発管が参画しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	個人情報保護の観点から、保護者からの要望がある場合のみ、適切に連携支援を行います。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	保護者の要望・同意があれば行うことができます。なお、重度心身障害児等の受け入れは行っていません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	保護者の要望・同意があれば行うことができます。なお、重度心身障害児等の受け入れは行っていません。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	保護者からの要望・同意があれば適切に対応いたします。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	保護者からの要望・同意があれば適切に対応いたします。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	一般社団法人発達支援研究所などから助言や研修を受けています。また、一般社団法人児童発達支援連絡協議会に加盟し情報収集を行っているほか主催する研修会にも参加しています。	
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	完全個別療育を行う事業所であるため、保育所などとの交流はありませんが、当事業所が主催するイベント(小集団療育)で、幼稚園などのお友達も参加できるよう配慮しています。		
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	一般社団法人児童発達支援連絡協議会に参加しています。	

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		療育終了後、毎回保護者と情報共有を図るとともに、普段来所できない保護者には、電話や手紙、療育日以外の日に来所いただくなど共通理解を図っています。	
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4		PTP は行っていませんが、必要な保護者には同様の内容を療育後の保護者支援の中で行っています。	
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		利用契約時の重要事項説明の際に、丁寧に説明しています。	
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		ガイドラインに沿って、支援計画書を示しながら適切に支援内容を説明し同意を得ています。	
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		毎回療育後、保護者からの相談に応じているとともに、ご要望があれば電話相談、療育とは別の日時での面談にも対応し、必要な助言と支援を行っています。	
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		個別療育という性格から、保護者同志の連携については取り組んでいませんが、年1～2回開催する茶話会（希望者のみ）などで交流の場を設けています。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		利用契約時に、開所時間はいつでも相談や苦情を受け付けていることを伝え、あった場合は迅速かつ適切に対応し、その経過を記録しています。	
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月2回程度ブログを更新、重要事項についてはチラシやお便りを作成・配布し、活動概要や行事予定を発信しています。	
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	4		法令等に則り適正に管理を行っています。	
	⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		利用者等の特性に配慮した情報伝達などを心がけています。	

	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	完全個別療育のため、地域住民等との交流行事の実施には馴染まないと考えています。	
非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	消防・防災計画を策定し、毎月想定を変えて避難訓練などを実施しています。保護者には、契約時に警報発令時や地震等発生時の対応について周知を行っています。	
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	消防・防災計画を策定し、毎月想定を変えて避難訓練などを実施しています。	
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	利用契約時に、病歴、生育歴などのアセスメントを行っています。	
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	事業所からの飲食の提供は行っていないため、特段の対応は行っていません。	
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	H30.4 開設以来、指導員が常に細心の注意を払って対応しているため、今のところ事例は極少数ですが、全スタッフが情報を共有して再発防止に努めています。	
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	身体拘束を含む虐待防止を図るための職員研修を年1回以上実施しています。	
	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	これまでのところ、身体拘束の必要性が想定される利用者の受け入れを行っておらず、これからも一切の身体拘束は行いません。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 クラ・ゼミ札幌宮の森校 保護者等数（児童数） 7名 回収数 7 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7				・個室になっているので集中できる	・スペースは広くはありませんが、個別療育として必要十分なスペースは確保しております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			1	・指導員の専門性や経験が不明	・教室掲示板の自己紹介の中で触れておりますが、更に詳しいことをお知りになりたい場合は、ご遠慮なく担当指導員にお尋ねください。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			1	・デスクの目隠し版がよく落ちて危険	・デスクの目隠し版を撤去することを含め適切に対応いたします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			1	・療育後の面談の際、本人と弟の対応をしてくれる職員がいてくれて助かる	・今後も適切に対応いたします。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7				・毎回内容が違い子供が飽きずに頑張っている	・個別支援計画に沿いながら、目標への進捗状況やその日のお子さまの状態などによりその日のプログラムを決めております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	3		・特に希望していない	・1日1時間の枠での個別療育のため、そもそも

								保育園などと交流する時間がありません。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1	3		・特に希望していない	・特に当該プログラムを必要とするご家族やご要望がある場合は、同等の内容の支援を行うことができます。
非常時等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6		1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	4			・完全個別療育を行っていることから、父母会などは行っておらず、またご要望もありません。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6		1			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6		1		・事后面談の際、本人も聞いているのにできなかったことや悪いことを話されることに抵抗がある	・利用児の入れ替えのタイミングやスペースの関係であったのかもしれませんが、大変申し訳ございません。今後、そのようなことがないように注意いたします。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4			3		・月に2回ブログを更新し行事等の告知等を行っているほか、重要なものはチラシやお便りを配布しております。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6			1		
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4		1	2		・利用契約時に、警報発令時や災害時などの対応について説明しています。

の 対 応							・毎月、地震・火災など想定を変えて避難訓練等を行っております。
	①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	1	2	・毎月、地震・火災など想定を変えて避難訓練等を行っております。
満 足 度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	7				・毎回通所を楽しみにしている。 ・ありがとうございます。今後も楽しみにしていただけるようスタッフ一同精進してまいります。
	③	事業所の支援に満足しているか	6			1	・通い始めてから理解面などに成長が感じられ満足。 ・初めて数か月、小学校入学時少しでも本人の助けになればと期待している ・中には数か月で効果が出るお子様もいらっしゃいます。一般的には時間はかかります。でも、回を重ねれば必ず成長に繋がります。スタッフ一同、全力でサポートさせていただきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。